

月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」 仁和寺にある法師―「徒然草」
新出漢字

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

		鋭	嘲	騎	逸	堪	浦	漂	綱	房	舟	如	僅	扇	忍
		エイ するどーい	チョウ あざけーる	キ	イツ	(カン) たーえる	うら	ヒョウ ただよーう	コウ つな	ボウ ふさ	シュウ ふね ふな	ジョ (ニョ)	キン わずーか	セン おうぎ	ニン しのーぶ しのーばせる
		鋭	嘲	騎	逸	堪	浦	漂	綱	房	舟	如	僅	扇	忍
		鋭	嘲	騎	逸	堪	浦	漂	綱	房	舟	如	僅	扇	忍
		ノ	、	、	ノ	ー	、	、	く	ー	、	く	ノ	ー	フ
		⑭ 鋭い 考え (するどーい)	⑬ 失敗を嘲笑する (ちようしよう)	⑫ 騎馬戦 (きば)	⑪ 偉人の逸話 (いつわ)	⑩ 任に堪える (たえる)	⑨ 浦沿いの歩道 (うら)	⑧ 空を漂う雲 (ただよーう)	⑦ 手綱を握る (たづな)	⑥ 女房 (にようぼう)	⑤ 舟を浮かべる (ふね)	④ 突如として 雨が降り出した (とつじょ)	③ 僅かな手勢 (わずか)	② 扇の的 (おうぎ)	① 恥を忍ぶ (しのぶ)

月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」
教科書に登場する漢字の読み

仁和寺にある法師―「徒然草」

送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

① 月夜の晩	（ばん）	①⑦ 過去の情景を思い出す	（じょうけい）
② 鐘を鳴らす	（かね）	①⑧ 故郷へ帰る	（こきょう）
③ 頼朝が旗揚げする	（はたあげ）	①⑨ 面を上げる	（おもて）
④ 鎌倉を本拠地に定める	（ほんきょち）	②⑩ 弓を引き絞る	（しばる）
⑤ 兵を挙げる	（あげる）	②⑪ 一差し舞う	（まう）
⑥ 城を攻める	（せめる）	②② 勝利の歓声	（かんせい）
⑦ 勢力を伸ばす	（せいりよく）	②③ 職務上の行為	（こうい）
⑧ 日暮れを迎える	（むかえる）	②④ 群衆を制止する	（せいし）
⑨ 手招きする	（てまねき）	②⑤ 高価な品物	（こうか）
⑩ 標的を射る	（い）	②⑥ 欠点を非難する	（ひなん）
⑪ 出場を辞退する	（じたい）	②⑦ 時間が惜しい	（おしい）
⑫ 義経の絶対の命令	（ぜったい）	②⑧ 敵の意表をつく	（てき）
⑬ 事実と相違がある	（そうい）	②⑨ 命懸けの作業	（いのちがけ）
⑭ 風が吹く	（ふく）	③⑩ 妙に静まり返る	（みよう）
⑮ 激しい北風	（はげしい）	③⑪ 待ち時間に心が騒ぐ	（さわぐ）
⑯ 車が揺れる	（ゆれる）	③② 予防は治療に勝る	（まさる）

月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」
教科書に登場する漢字の書き

仁和寺にある法師―「徒然草」

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① 恥を しのぶ	(忍ぶ)	⑮ 月夜の ばん	(晩)
② おうぎの 的	(扇)	⑯ かね を鳴らす	(鐘)
③ わずか な手勢	(僅か・僅か)	⑰ 頼朝が はたあげ する	(旗揚げ)
④ とつじよ として 雨が降り出した	(突如)	⑱ 鎌倉を ほんきよ ちに定める	(本拠地)
⑤ ふね を浮かべる	(舟)	⑲ 兵を あげる	(挙げる)
⑥ にようぼう	(女房)	⑳ 城を せめる	(攻める)
⑦ たづな を握る	(手綱)	㉑ せいりよく を伸ばす	(勢力)
⑧ 空を ただよう 雲	(漂う)	㉒ 日暮れを むかえる	(迎える)
⑨ うら 沿いの歩道	(浦)	㉓ てまねき する	(手招き)
⑩ 任に たえる	(堪える)	㉔ 標的を いる	(射る)
⑪ 偉人の いつわ	(逸話)	㉕ 出場を じたい する	(辞退)
⑫ きば 戦	(騎馬)	㉖ 義経の ぜったい の命令	(絶対)
⑬ 失敗を ちようしよう する(嘲笑・嘲笑)	(嘲笑・嘲笑)	㉗ 事実と そうい がある	(相違)
⑭ するどい 考え	(鋭い)	㉘ 風が ふく	(吹く)
		㉙ はげしい 北風	(激しい)
		㉚ 車が ゆれる	(揺れる)

月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」
教科書に登場する漢字の書き

仁和寺にある法師―「徒然草」

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

①過去のじょうけいを 思い出す	(情景)	☐ 声をしのばせる (忍ばせる)
②こきようへ帰る	(故郷)	☐ せんぷうき (扇風機)
③おもてを上げる	(面)	☐ きんさで勝つ (僅差)
④弓を引きしぼる	(絞る)	☐ だんぼう器具 (暖房)
⑤一差しまう	(舞う)	☐ ひとふさのぶどう (一房)
⑥勝利のかんせい	(歓声)	☐ つな引き (綱)
⑦職務上のこうい	(行為)	☐ 布をひようはくする (漂白)
⑧群衆をせいしする	(制止)	☐ 気品がただよう (漂う)
⑨こうかな品物	(高価)	☐ 聞くにたえない (堪えない)
⑩欠点をひなんする	(非難)	☐ ひとをあざける (嘲る・嘲る)
⑪時間がおしい	(惜しい)	☐ 目つきがするどい (鋭い)
⑫てきの意表をつく	(敵)	☐ しんしんきえい (新進気鋭)
⑬いのちがけの作業	(命懸け)	
⑭みように静まり返る	(妙)	
⑮待ち時間に心がさわぐ	(騒ぐ)	
⑯予防は治療にまさる	(勝る)	